

2025年度 1年 国語科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉を 楽しむ	比喩や反復などの表現技法について理解している。 文節や単語などの言葉の単位について理解している。	詩の内容を捉え、音読して読み味わうとともに、筆者の主張を理解している。 具体的な描写を取り入れて文章を書き改めている。 書いた下書きを読み返し、語句の使い方などを確かめ、表現を工夫して詩を仕上げている。 話すときの適切な速度や話の表情について理解し、例文を適切に音読している。	進んで描写をもとに詩の情景を想像し、学習課題に沿って音読しようとしている。 進んで文章を読んで話し方について考え、相手にとって聞き取りやすいように話そうとしている。 進んで活字と書き文字の違いや画数について理解し、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
思いを 捉える	つなぐ言葉や指し示す言葉について理解している。 漢字の音読みと訓読みについて理解している。	人物の言動や場面の様子を描いた表現から、思いを捉えている。	進んで登場人物の思いを捉え、作品を読もうとしている。
分かり やすく 伝える	国語の学習に関わる語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。 語のさまざまな意味や、文脈の働きについて理解する。	段落の役割や段落どうしの関係を捉え、要旨をつかむ。 段落ごとに内容を捉えたり、接続する語句や指示する語句を手がかりに段落どうしの関係を押さえたりしながら、段落の役割に着目して文章の構成を捉え、全体の内容を把握している。 日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理している。	構成を捉えたり、文章の書き方について考えたりする学習に関心を持ち、段落の役割や段落どうしの関係に着目しながら文章を読もうとしている。 日常生活の中から題材を決め、集めた材料について整理しようとしている。
展開を捉え る	五種類の文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解している。 方言と共通語の果たす役割について理解している。	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを、描写をもとに読み取る。 相手や目的に応じて必要な情報を選び、伝えたいことを明確にする。	作品から読み取ったことをもとに、作品には描かれていない人物の心情を想像しようとし、自分の考えを確立しようとしている。
考えをまと める	単語の分類の仕方や十種類の品詞の特徴について理解している。 意見と根拠の関係について理解している。 漢字の部首とその意味について理解し、漢字を文や文章の中で使う。	事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかむ。 目的に応じて必要な情報に着目して要約する。 根拠を明確に示して、自分の意見が伝わる文書を書いている。	進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報を取り出して要約しようとしている。 進んで考えと根拠との関係を理解し、根拠を明確にして文章を書こうとしている。 根拠を明確にしたり、読み手の助言を踏まえて改善点を見いだしたりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って意見文を書こうとしている。
伝統文化 に親しむ	古典の世界に興味・関心を持つとともに、古典作品には物語、随筆、和歌、漢文など、さまざまな種類のものがあることを理解している。 形の似た漢字に注意して、漢字を文や文章の中で使っている。	歴史的仮名遣いや古典の言葉の意味に注意して音読し、古文を読み味わっている。 故事成語の意味や由来を調べ、それに当てはまる体験や出来事を文章にまとめている。	意欲的に文章を読み、古典への興味・関心を持っている。 古典に描かれた人間の心のありようについて話し合おうとしている。 漢文特有のリズムを味わい、故事成語について調べて自分の考えをまとめようとしている。
伝え方を考 える	原因と結果の関係について理解している。	文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを明確にし、ニュースの見方について考えたことを話し合っている。 話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考えている。	学習課題に沿って、ニュースの見方についての自分の考えを持とうとしている。 他教科で学ぶ漢字について進んで学習し、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
視点を変え る	単語の類別について理解している。 漢字の成り立ちについて理解し、漢字を文や文章の中で使っている。	場面と場面、場面と描写を結びつけて、作品を読み深めている。 構成の工夫や表現の効果について考えている。 日常生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意しながら、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめようとしている。
評価方法	・定期考査 ・小テスト(文法、暗唱、漢字など) などによる学習到達度で評価	定期考査 ・提出物(・レポート、振り返り、作文など) ・作品(書写など) ・スピーチ などによる学習到達度で評価	・提出物(授業での目標設定、振り返り、レポートなど) ・作品などへの取り組み ・スピーチ などによる主体的な学習関わり度で評価

2025年度 1年 社会科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の姿	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の姿	我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。	日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界のさまざまな地域	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史の流れと時代区分	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
古代 古代国家の成立と東アジア	世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
中世 武家政権の成長と東アジア	鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広がったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
近世 武家政権の展開と世界の動き	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
評価方法	定期テスト 授業プリント 提出物(ワークなど) 小テストや単元テスト 調べ学習と発表 など	定期テスト 授業プリント 提出物(ワークなど) 小テストや単元テスト 調べ学習と発表 など	授業プリント 振り返り 調べ学習と発表 取り組みの成果物 など

2025年度 1年 数学科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
算数から数学へ	・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだし表現することができる。	・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。
正負の数	・正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 ・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 ・正負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。	・算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 ・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。	・正負の数の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
文字と式	・文字を用いることの必要性和意味を理解している。 ・文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。 ・文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 ・簡単な1次式の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、読み取ったりすることができる。	・具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。	・文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
方程式	・方程式の必要性和意味を理解している。 ・方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 ・等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ・簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 ・1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。	・等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。 ・具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。 ・具体的な場面の問題において、解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。	・方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
比例と反比例	・関数関係の意味を理解している。 ・比例、反比例について理解している。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	・比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。 ・比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
平面図形	・平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	・図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 ・線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。	・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
空間図形	・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・立体図形の展開図や投影図について理解している。 ・柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。	・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 ・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 ・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
データの分析と活用	・ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 ・累積度数、累積相対度数の必要性和意味を理解している。 ・代表値や範囲の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。	・目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	・ヒストグラムや相対度数の必要性和意味を考えようとしている。 ・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
評価方法	定期考査、小テスト、ワークシートなど	定期考査、小テスト、ワークシートなど	振り返りなど

2025年度 1年 理科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな生物とその共通点	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかた、植物のからだの共通点と相違点、動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の観察と分類のしかた、植物のからだの共通点と相違点、動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物の観察と分類のしかた、植物のからだの共通点と相違点、動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
活きている地球	大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害、地震の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害、地層の重なりと過去のようすについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身近な地形や地層、岩石の観察、火山、自然のめぐみと火山災害、地震、地震災害、地層の重なりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方、地下のマグマの性質と火山の形、自然のめぐみや火山災害と火山活動のしくみと、地震の原因と地球内部のはたらき、地震災害と地震発生のしくみ、地層の重なり方や広がり方の規則性や関係性などを見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	身近な地形や地層、岩石の観察、火山、自然のめぐみと火山災害、地震、地震災害、地層の重なりと過去のようすに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
身のまわりの物質	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質、気体の発生とその性質、水溶液、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のすがた、水溶液、状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
光・音・力による現象	光、音、力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき、音の性質、力のはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	光、音、力について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき、音の性質、力のはたらきの関係性や規則性を見いだし表現しているなど、科学的に探究している。	光、音、力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期テスト、小テスト、実技テスト等	定期テスト、ワークシート、小テスト、プランシート等	プランシート、提出物等

2025年度 1年 音楽科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鑑賞 動物の謝肉祭	音楽を形づくる要素とそれぞれの意味を理解している。	音楽を形づくる要素と動物のイメージ(動きや場所、大きさなど)のかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
歌唱 校歌	旋律を理解して歌うことができる。	豊かな声で歌うために工夫したことを説明することができる。	校歌の旋律を理解し、より豊かな声で歌えるようになるまでの過程を具体的に説明している。
鑑賞 春	作曲家や協奏曲について正しい知識を身につけている。	ソネット(詩)に沿って音楽を聴き、音楽から生まれる物語を説明することができる。 また、音色、旋律、リズム、テクスチュア、強弱について具体的に説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
歌唱 夢の世界を	様々な歌唱形態や声部に関する知識を身につけている。 各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。	音色、テクスチュアの変化、それらが生み出すイメージを具体的に説明することができる。	「夢の世界を」の旋律、その役割を理解し、より豊かな声で歌えるようになるまでの過程を具体的に説明している。
歌唱 赤とんぼ	作詞・作曲家について正しい知識を身につけている。 旋律の動きに合わせて強弱をつけて歌うことができる。	旋律と強弱、歌詞の抑揚について具体的に説明することができる。 作詞された背景と1〜4番の歌詞の意味を理解し、音楽的な工夫にどうつながるとよいか説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
鑑賞 魔王	作詞作曲家、使われている楽器、登場人物やストーリーを理解している。	1人4役を演じる歌い手の声を聴き、4つの役柄の気持ちを説明することができる。また、それぞれの声の音色について詳しく説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、粘り強くとりくんでいる。また学びの過程を具体的に説明している。
歌唱 混声合唱	歌唱形態、声部の役割を理解している。 演奏順序を表す記号の意味と楽譜の見方を理解している。 豊かな発声で歌うことができる。	合唱曲の旋律、強弱、テクスチュアの具体的な説明をすることができる。 声部の役割によってどのような工夫をするかを説明することができる。	自分たちの声部の課題、改善のための具体的な方法を話し合い、練習にとりくんでいる。 またその練習の過程を具体的に説明している。
器楽 アルトリコーダー	アルトリコーダーの各部の名称を理解している。 運指、息づかい、アーティキュレーションの工夫をして美しい音色で吹くことができる。	曲想にあったアーティキュレーションを考え、その理由を説明することができる。	運指、息づかい、アーティキュレーションの工夫をして吹けるようになるまでの過程を具体的に説明している。
評価方法	小テスト、実技テスト	小テスト、プリント	プリント(他者との交流・振り返り)、授業の様子、実技テストの態度

2025年度 1年 美術科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画分野	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。	・対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。
デザイン 工芸分野	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えること理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 ・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。	・構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。 ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。 ・使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞分野	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えること理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価 方法	授業プリント、課題プリント、作品	授業プリント、課題プリント、作品	授業プリント、課題プリント、作品の仕上がり度 (計画的に課題を完成させられるか) 課題の提出状況、毎時の振り返り

2025年度 1年 保健体育科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	○知識 ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話合いに参加しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
器械運動	○知識 ・器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることがができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることがができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組もうとするとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
陸上競技	○知識 ・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡してタイミングを合わせることがができる。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
水泳	○知識 ・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
球技	○知識 ・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとする、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。

武道	○知識 ・武道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ○剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・武道に積極的に取り組もうとするとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
ダンス	○知識 ・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
体育理論	・運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解している。 ・運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解している。 ・世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価規準は設定していない。	・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。
保健	・健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。 ・身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。 ・思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解している。 ・知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。 ・精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身に付けている。	・心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価方法	・小テスト ・単元テスト ・単元レポート ・実技テスト	・単元レポート ・授業プリント ・小テスト	・単元レポート ・授業の取り組みの様子など ・授業の参加状況（欠席、見学、遅刻、忘れ物）など

2025年度 1年 技術家庭科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アルゴリズムとプログラム	順次・反復・分岐の基本処理を理解している	目標に対して、適切な基本処理を用いることができる	社会とプログラムのかかわりを意識できている。
情報モラル	- インターネットにおけるウソを見分けることができる - 炎上とバスのちがいを理解できる - SNS 上におけるリスクの変化を理解できる	左記の内容について、ペア・グループ活動を通して、他者の価値観を知り、自分の考えを深めることができる。	ペア・グループ活動に積極的に参加している。
材料加工	3 種類の製図の必要性について理解できる - 等角図、第三角法を描き分けることができる - 材料の特性について理解できる。 - 工具の適切な扱い方が理解できる。	材料取り図・構想図などを用いて、製作品の見通しを持つことができ、時間内に製作できるように工夫している。	「品質と時間」、「社会性・経済性・環境性」のトレードオフを意識した言動をしている。
家族	- 家族・家庭の機能について理解できる - 家庭生活を支える社会のしくみについて理解できる - 家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する	家族関係の在り方について、ロールプレイを通して考えることができる	自分の考え・関心を大切にすることで、自分を大切にしようとする態度をはぐくむもうとしている。
衣生活	- カラーコーディネートについて理解できる - 和服と洋服のちがいを理解できる - 汚れの落とし方を知り、洗濯表示について理解できる。 - 裁縫の基礎技能について習得できる	説明書を見て、製作品の見通しを持つことができ、時間内に製作できるように工夫している。	衣生活から、自分らしさを再確認しようとしている。
評価方法	- ICT 家事スキルテスト - 実習製作品 - デジタルワークシート	- 自己申告書 - 実習製作品 - デジタルワークシート	- 授業態度(提出物含む) - 実習製作品 - 月課題

2025年度 1年 英語科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元(Unit)	観点Ⅰ 知識・技能	観点Ⅱ 思考判断表現	観点Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
0. Welcome to Junior High School	小学校で学習した表現が分かる。英語の文字と音の関係を理解し、英語・英文の書き方のルールが理解できている。	小学校で学習した表現を活用しながら、聞く・話すといったやりとりや書くことができる。	発声・発話に積極的に取り組む。話すことが書く活動に結びつき、小学校での学習のふり返りができている。
1. New School, New Friends	自分がふだんすることやできることに関する表現が理解でき、適切な英文で書くことができる。	自分がふだんすることやできることについて、聞く・話す(やりとり)・書くことができる。	ふだんの生活やできることについて、積極的に表現活動に参加でき、ふり返りができている。
2. Our New Teacher	身近な人・ものについて紹介したり、尋ねる表現を理解し、適切な英文で書くことができる。	身近な人・ものについて紹介するテーマについて、やりとりができる。	身近な人・ものを紹介する表現活動に積極的に参加でき、ふり返りができている。
3. Club Activities	When, Where, How many の疑問文応答を理解し、適切なり文で書くことができる。	いつ・どこなのかを尋ねたり、数を尋ねたり、どのように応答するのか表現することができる。	疑問詞When, Where, How many 等を使った場面の表現活動に積極的に参加でき、ふり返りができている。
4. Friends in New Zealand	命令文や what time, what+名詞の表現を理解し、適切な英文で書くことができる。	相手に指示したり、時刻や好きなものを尋ねたりする応答を理解し、書くことができる。	相手に指示したり、時刻や好きなものをやりとりする活動に積極的に参加でき、ふり返りができている。
5. A Japanese Summer Festival	前置詞、動名詞、過去形を使った表現を理解し、適切な英文で書くことができる。	行った場所や、そこで楽しんだことについて話したり、書くことができる。	行った場所や、そこで楽しんだことについて、積極的に表現活動に参加でき、ふり返りができている。
Stage Activity 1	ここまで学習した内容を活用し、適切な英文表現で書くことができる。	ここまで学習した内容を活用し、伝え方の工夫をしながら自己紹介ができる。	ここまで学習した内容をふり返りながら、積極的に表現活動に参加できている。
6. A Speech about My Brother	三人称・単数・現在形の文法ルールについて理解し、適切な英文で書くことができる。	自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたり、書くことができる。	自分と相手以外の人やものなどについて、積極的に表現活動に参加でき、ふり返りができている。
7. Foreign Artists in Japan	人称代名詞、which, whose を使った疑問文を理解し、適切な英文で書くことができる。	自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、誰のものをやりとりしたり、書くことができる。	自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、誰のものかについて、積極的に表現活動に参加し、ふり返ることができる。
8. A Surprise Party	現在進行形の文法ルールについて理解し、適切な英文で書くことができる。	今していることについて説明したり、尋ねたり、書くことができる。	今していることについての表現活動に積極的に参加し、ふり返ることができる。
9. Think Globally, Act Locally	want to +動詞、look+形容詞の文法ルールを理解し、適切な英文で書くことができる。	したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、尋ねたり、書くことができる。	したいことや、する必要のあることなどについて積極的に表現活動に参加し、ふり返ることができる。
Stage Activity 2	第3者の立場で人物を紹介する表現を理解し、適切な英文で書くことができる。	第3者の立場で人物を紹介する内容をやりとりしたり、書くことができる。	第3者の立場で人物を紹介するを通して、積極的に表現活動に参加し、ふり返りができている。
10. Winter Vacation	規則動詞・不規則動詞の過去形の文法ルールを理解して、適切な英語で書くことができる。	過去の出来事について説明したり、尋ねたり、書くことができる。	過去の出来事について説明したり、尋ねたり、書くことができる。
11. This Year's Memories	Be 動詞の過去形、過去進行形の文法ルールについて理解し、適切な英文で書くことができる。	過去の状態や気持ち、過去のある時点について、説明したり、尋ねたり、書くことができる。	過去の状態や気持ち、過去のある時点についていたことについて、積極的に表現活動に参加し、ふり返ることができる。
Stage Activity 3	ここまで学習した内容を活用し、適切な英文表現で書くことができる。	1年間の学習内容をふり返り、伝え方の工夫をしながら発表ができる。	ここまで学習した内容をふり返りながら、積極的に表現活動に参加できている。
評価方法	定期テスト、小テスト、提出物	定期テスト、実技テスト、提出物	実技テスト、提出物、授業振り返り、小テスト